

研究課題名「尿中化学物質類測定の世界精度管理に関する研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

- 1) 2012年7月1日～2013年3月31日に岡崎市内にて研究課題名「小児を対象とした尿中殺虫剤代謝物のモニタリング」に研究協力し、お子様の尿を提供された方
- 2) 2011年8月から2013年1月までに、殺虫剤散布職域および一般生活者と対象とした研究課題「農薬類への曝露量と健康影響の評価に関する分子疫学研究」への研究参加に同意され尿検体を提供された方
- 3) 2013年4月15日より3年間の間に研究課題「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」への研究参加に同意された妊婦さん

2. 研究目的・方法・研究期間

本研究は、尿中化学物質測定値が近い将来に国際的に比較・議論されることを見越して、測定値が正しく測定されているか、あるいは海外の測定結果と比較可能であるかどうかを調査する取り組みです。たとえば、同じ尿を申請者の研究室と海外にある測定機関による測定結果にズレが生じている場合、それぞれの測定値を補正してから日本人のデータと海外のデータを比較する必要があります。こういう取り組みを「精度管理」ともいいます。しかし、尿中の化学物質高感度測定に関する国際的な精度管理に関する取り組みは現在のところありません。本研究では、上記「研究の対象者」の中からランダムで尿を抽出し、それまでに連結されていたIDやその他の情報を一切削除した状態(尿という物質のみ)の尿を、次のように使用します。

名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学専攻病態解析学講座上山研究室から上記対象者から尿25名分を、ドイツ連邦環境庁環境衛生部毒物健康関連環境モニタリング室からはThe German Environmental Survey for Children (GerES IV)で得られた25名分の尿を提供しあい、それぞれの尿を両測定施設において測定します。測定項目は化学物質曝露マーカー、たとえば農薬曝露マーカーなどを対象とします。目標測定数は50検体として、得られた結果の評価は共同研究者の名古屋市立大学で実施します。

研究期間は実施承認日から2022年3月31日とします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：なし

試料：尿

4. 外部への試料・情報の提供

ランダム抽出された尿サンプルは、ドライアイスと同梱した後に冷凍条件下で空輸でドイツまで送付されます。

5. 研究組織

研究代表者（所属・職名・氏名）

・名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学・准教授・上山純

研究責任者（所属・職名・氏名）

・名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学・准教授・上山純

研究分担者（所属・職名・氏名）

・名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学・修士2年・浜田梨沙

共同研究者（所属・職名・氏名）

・名古屋市立大学医学研究科環境労働衛生学分野・教授・上島通浩

・ドイツ連邦環境庁環境衛生部毒物健康関連環境モニタリング室・室長・
Marike Kolossa-Gehring

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料が当該研究に用いられることについて対象者もしくは対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも対象者に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学専攻病態解析学講座

准教授・上山純(研究責任者)

〒461-8673 名古屋市東区大幸南1-1-20

052-719-1341

ueyama@met.nagoya-u.ac.jp